

第38回市村産業賞 貢献賞を受賞 ～「日石LCフィルム」シリーズの技術開発が評価～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)は、「液晶ディスプレイ用液晶性高分子フィルムの開発」の実績に対し、財団法人新技術開発財団から、第38回市村産業賞貢献賞を受賞しましたのでお知らせいたします。

市村産業賞は、科学技術の進歩、産業の発展、文化の向上、その他国民の福祉・安全に関し、科学技術上貢献し、優秀な国産技術の開発に功績のあった技術開発者を顕彰するものです。

今回当社は、(1)液晶性高分子の特徴を活かした光学機能を有する液晶フィルムを、「[日石LCフィルム](#)」シリーズとして世界で初めて工業化に成功し、(2)全世界の携帯電話の約50%にあたる3億台に搭載されていること、(3)国内外で70件以上の特許を取得し、高い独創性を持った国産技術であること、などの業績に対して、同賞を受賞いたしました。

当社は、行動規範として「New Ideas」を掲げておりますが、今後もたえず新しい発想で未来に挑戦し、ビジネスを創造することで、人々から最も支持される総合エネルギー企業を目指してまいります。

「日石LCフィルム」シリーズ

「日石LCフィルム」シリーズとは、当社が世界に先駆けて開発した、液晶性高分子を精密配向させた光学フィルムであり、当社の持つ高い技術によりはじめて実現できた画期的な製品です。同製品を液晶ディスプレイに組み込むことにより、斜めから見たときの色変わりを抑えたり、画面をよりくっきりと見やすくできるなどの特徴を持っており、液晶ディスプレイの価値を飛躍的に高める効果があります。当社品が採用されている携帯電話用を始めとする中小型の液晶ディスプレイ分野は世界的にカラー化・高画質化の流れにあり、高性能な同製品のニーズはさらに高まっています。

当社の取組み

当社では、上述の研究開発を1988年から行っており、1995年には、「日石LCフィルム」の商品名で、世界初の光学用液晶フィルムとして販売を開始しました。世界的な需要の増加に伴い、1995年から新日石液晶フィルム株式会社(当社100%出資子会社、社長:栗田 隆夫)の辰野工場(所在地:長野県上伊那郡)にて、2005年春から新日石液晶(蘇州)有限公司(当社100%出資子会社、総経理:向井 潤)の中国・蘇州工場(所在地:中国江蘇省蘇州市)にて同製品を生産しております。



概要

1. 受賞概要

(1) 受賞テーマ : 「液晶ディスプレイ用液晶性高分子フィルムの開発」

(2) 受賞者 :

真崎 仁詩 (まざき ひとし)

研究開発本部 中央技術研究所 情報化学材料グループマネージャー

豊岡 武裕

研究開発本部 研究開発企画部 R&D企画グループマネージャー

伊藤 宏之

研究開発本部 中央技術研究所 研究顧問

2. 新日石液晶フィルム株式会社 辰野工場の概要

(1) 所在地 : 長野県上伊那郡辰野町

(2) 設立 : 1995年

(3) 生産能力: 120万m²/年

3. 新日石液晶(蘇州)有限公司の概要

(1) 所在地 : 中国江蘇省蘇州市「高新区(ハイテク産業開発区)」内

(2)設立 : 2003年

(3)資本金 : 2,500万米ドル(約30億円)

(4)業務内容: LCフィルムの生産および中国国内外への販売

(5)生産能力: 120万m²/年

4. 新技術開発財団について

新技術開発財団は、「リコー三愛グループ」の創業者である故市村清氏の提唱により、新しい技術社会の基盤を造成し、我が国経済社会の発展と国民生活向上への貢献を目指し、昭和43年に設立されました。同財団は故人から私財の寄贈を受け、以来30年以上にわたり新技術開発の助成ならびに市村産業賞・市村学術賞の贈呈などを行っています。

以上